

2016.3.29
厚生労働科学研究「内服薬処方せんの記載方法標準化の普及状況に関する研究」研究報告会

鳥取県西部地域における一回量処方導入への取り組み

○合田康也¹ , 山足敏昭² , 梶木 芳和¹ ,
高根浩¹ , 八本久仁子² , 鳥取美樹³ ,
鳥取大学医学部附属病院薬剤部¹
国立病院機構米子医療センター薬剤部²

本演題に関連して、筆頭著者に開示すべき利益相反はありません。

背景

医師や医療機関の間で処方せんの記載方法が統一されていないことに起因した記載ミス、情報伝達エラーを防止する観点から、誰が見ても記載内容を理解できる処方せんの記載方法を標準化し、我が国の全ての医療機関において統一された記載方法による処方せんが発行されることが望ましい。

処方せんの標準化、すなわち一回量処方の導入にあたって地域の保険薬局薬剤師の理解と協力は不可欠であると考えられる。

鳥取県西部地域で、平成26年に広域病院2施設（鳥取大学医学部附属病院、米子医療センター）で一回量処方の導入を行った。その際、病院薬剤師会と薬剤師会の横断的組織である院外処方連絡協議会が主体となり、情報や注意喚起について地域として共有してきた。

今回、当地域における取り組みについて報告する。

「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」要点

- 処方せんの記載方法が統一されていないことに起因した記載ミス、情報伝達エラーを防止する観点から、誰が見ても記載内容を理解できる処方せんの記載方法を標準化し、我が国の全ての医療機関において統一された記載方法による処方せんが発行されることが望ましい。
- 内服薬処方せん記載の在るべき要
1. 「薬名」については、最低基準に記載されている製剤名を記載することを基本とする。
 2. 「分量」については、最小基本単位である1回量を記載することを基本とする。
 3. 薬剤及び液剤の「分量」については、製剤量（原薬量ではなく、製剤としての量）を記載することを基本とする。
 4. 「用法・用量」における服用回数・服用のタイミングについては、標準化を行い、情報伝達エラーを惹起する可能性のある表現方法を排除し、日本語で明確に記載することを基本とする。
 5. 「用法・用量」における服用日数については、実際の投与日数を記載することを基本とする。

地域の一回量処方対応状況（平成25年以前）





2 病院の概要について

病院名	鳥取大学医学部附属病院	国立病院機構 米子医療センター
病床数	697床	270床
院外処方発行率 (平成26年度)	89.4%	92.7%
院外処方せん枚数 (平成26年度)	137,488枚	39,523枚
診療科数	32科	23科
電子カルテシステム	IBM社 DAISEN	ソフトウェアサービス社 NEWTON2
一回量処方開始日	平成26年1月1日	平成26年7月22日
一回量処方開始の契機	電子カルテシステムの更新時	電子カルテシステムの新規導入時

一回量処方せんについて

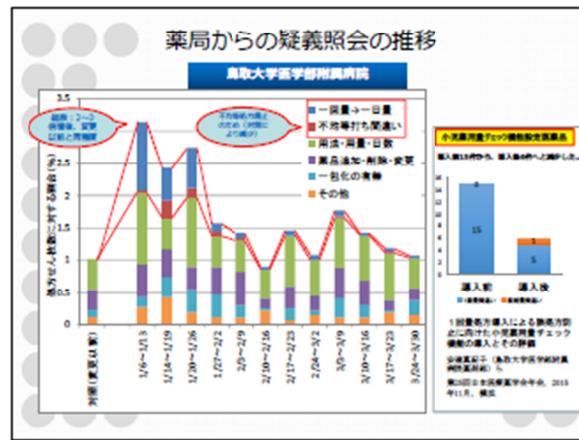
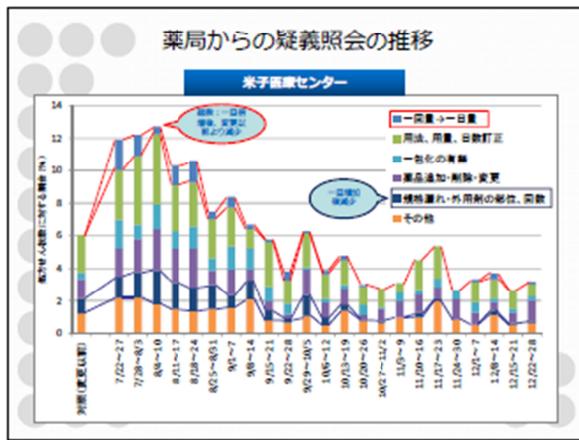
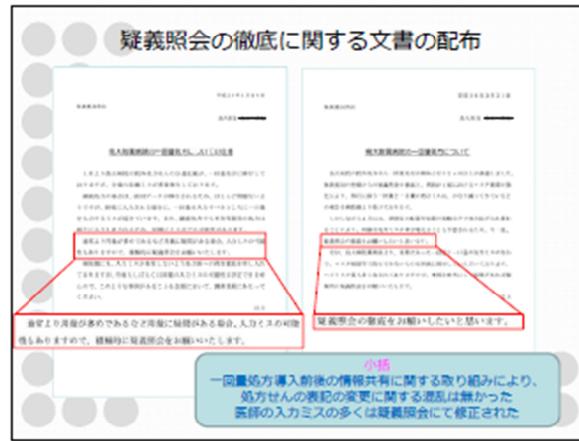
医師の入力方法: 2施設ともに一回量入力

薬局への周知と情報共有に関する取り組み

院外処方連絡協議会…

- 開催日： 平成26年5月15日
- 委員： 病院薬剤師 8名
薬局薬剤師 12名
- 開催日時： 毎月第2水曜日 午後7時より
- 場所： 鳥取大学医学部附属病院薬剤師部薬室
- 主な議題： 院外処方に係るクレームやトラブルの報告・協議
その他の議題・協議事項

鳥取大学病院	米子医療センター	取り組み内容
1ヶ月半前 2013/11/13	2ヶ月半前 2014/4/9	…協議会において処方例の提示
		…協議会および薬剤師会委員会において意見交換
2日前 2013/12/12	14日前 2014/7/8	…薬剤師会分薬勉強会において説明会の実施
6日前 2013/12/26		…薬剤師会より周知文書の配布
0 2014/1/1	0 2014/7/22	…一回量処方の導入



薬局薬剤師へのアンケート調査

期間：平成26年7月24日～8月6日

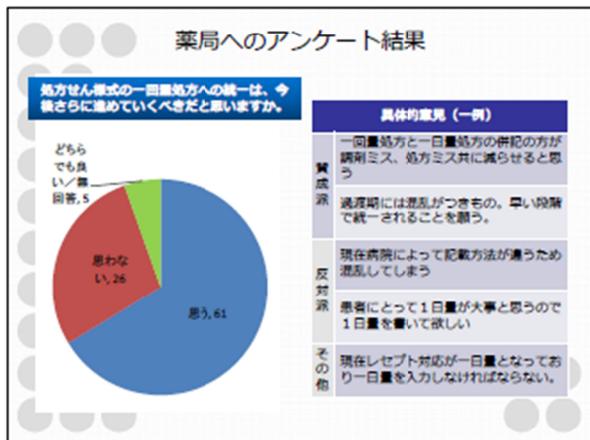
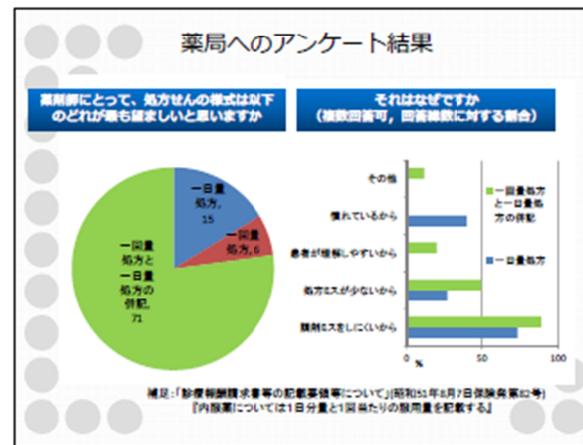
対象：鳥取県西部地域の保険調剤薬局（118軒）

方式：FAXによる配布、回答用紙への記入

回収率：78.0%（92/118）

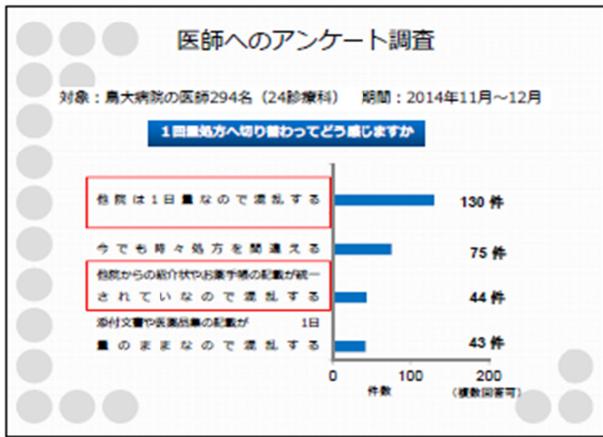
設問

- 薬剤師にとって、処方せんの様式は以下のどれが最も望ましいと思いますか
 - 一日量処方
 - 一回量処方
 - 一日量処方と一回量処方の併記
- それはなぜですか（複数回答可）
 - 薬剤ミスをしにくから
 - 処方ミスが少ないから
 - 患者が理解しやすいから
 - その他
- 処方せん様式の一回量処方への統一は、今後さらに進めていくべきだと思いますか。
 - 思う
 - 思わない
- その他



お薬手帳の記載状況

項目	内容
薬剤名・剂型	ジブロラムドヒドロキシド小児錠
分量・日量	100mg(1錠 0.02g)
持続時間	3日分
医師名・西暦	アスピリントロロップ 5ml
分量・日量	0.025g(1錠 0.04g)
持続時間	3日分
薬剤名・剂型	コロナード混悬液
分量・日量	800ml
持続時間	1日分
医師名・西暦	1日4回 1回4錠
分量・日量	100ml
持続時間	1日分
薬剤名・剂型	アスピリントロロップ 5ml
分量・日量	1.5ml
持続時間	1日分
医師名・西暦	ムコダインシロップ 5ml
分量・日量	1.5ml
持続時間	1日分
薬剤名・剂型	ムコダインD 5.0%
分量・日量	1g
持続時間	1日分
医師名・西暦	ムコダインD 5.0% 5% 5%
分量・日量	1ml
持続時間	1日分
薬剤名・剂型	温湿器
分量・日量	温湿器
持続時間	温湿器
医師名・西暦	温湿器
分量・日量	温湿器
持続時間	温湿器
医療機関名	国立大学法人鳥取大学医師会付属病院
処方日	平成26年 2月17日 調剤日 平成26年 2月17日
持続時間	1日 1回 鼻内滴鼻
薬剤名	アブレントル液 0.5%
分量・日量	1.5ml
持続時間	1日 2回 鼻内液
医師名・西暦	アブレントル液 0.5%
分量・日量	1.5ml
持続時間	1日 2回 鼻内液
薬剤名	ビンターベン吸入器 0.1%
分量・日量	0.5ml
持続時間	1日 3回 1回 3ml 5分
医師名・西暦	ビンターベン吸入器 0.1%
分量・日量	0.5ml
持続時間	1日 3回 1回 3ml 5分
薬剤名	ラミクリーン鼻水洗浄液 2.0mL 1.0ml
分量・日量	1.0ml
持続時間	1日 2回 鼻水洗浄液
医師名・西暦	ラミクリーン鼻水洗浄液 2.0mL 1.0ml
分量・日量	1.0ml
持続時間	1日 2回 鼻水洗浄液
薬剤名	ラミクリーン鼻水洗浄液 2.0mL 1.0ml
分量・日量	1.0ml
持続時間	1日 2回 鼻水洗浄液
医師名・西暦	ラミクリーン鼻水洗浄液 2.0mL 1.0ml
分量・日量	1.0ml
持続時間	1日 2回 鼻水洗浄液



まとめ

- 調剤三段階
処方せんの表記の変更に関する混乱を避けるために、薬局に対して十分な説明を行い理解を得ることが必要である。
- 処方ミス対策
処方せんの入力方法が変わることで医師の処方ミスも増える。
医療過誤を防ぐために、薬剤師による処方監査と矮義服会の強化は極めて重要である。
- 表示様式
薬剤師にとっての処方せん様式は調剤ミスや処方ミスが少ないという理由から「1回量処方と1日量処方の併記」を望む意見が多く、現在の処方様式の妥当性が示された。
- 地域の統一
処方せん標準化策は全ての医療機関における記載の統一化が最終目標である。一回量処方にについて、薬剤師・医師とともに「処方せん様式の混乱は混乱を引き起こす」という意見が多く、薬局のシステムを含め地域で統一に向けた取り組みを行うことが重要である。

